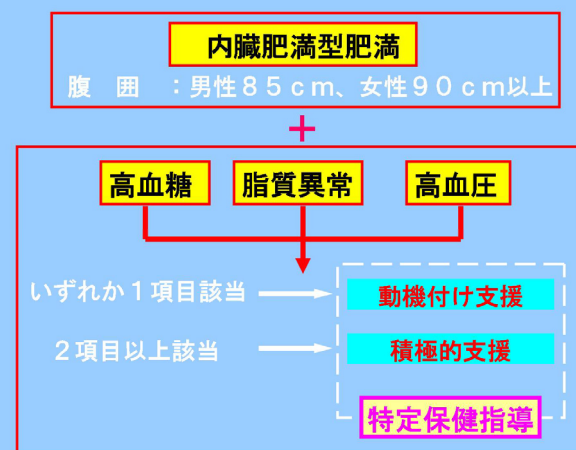




★今年度からメタボ検診が始まります★ Part②

今回は「特定健康診査（メタボ検診）」について説明しましたが、今回はこの検診の受診結果により、生活習慣病の発症リスクが高いと認められた者に対して行われる「特定保健指導」について紹介します。特定保健指導ではメタボ検診の結果により「動機付け支援」及び「積極的支援」が行われます（別表参照）。この保健指導では、まず医師や保健師等による面接を受け、生活習慣改善に向けたアドバイス受けます。各人はそのアドバイスを基に生活習慣の改善に努めます。そして、6ヵ月後に面接・電話・メール等の方法で医師等に健康状態・生活習慣の改善状況を確認してもらわなければなりません。なお、「積極的支援」と判定された方には、上記6ヶ月間の生活習慣の改善期間中に1回、生活習慣改善に向けたアドバイスを医師等から受ける必要があります。特定保健指導を受けた方は、将来発症するかもしれない成人病を予防するためにも、与えられたアドバイスに沿って生活習慣の改善に努めましょう。



別表：特定保健指導における判断基準

☆CONTENTS☆

■巻頭コラム

■最近のトピックス

- 平成20年度三河港及び衣浦港の事業計画説明会開催
- 衣浦港港湾危機管理対策合同訓練 ○碧南火力発電所たんトピア見学
- 第20回蒲郡オレンジトライアスロン大会 ○「半田運河再活性化プロジェクト協議会」開催
- 「第1回みなとオアシス会議」開催 ○おいなあ市（第1回南知多町豊浜物産市）
- 今年度からメタボ検診が始まります Part②
- お知らせ・・・○「アクアフェスタ2008」7月27日 ○「環境キッズフェスティバル」8月2日～10日

☆巻頭コラム☆

三河港湾事務所長 塩田 昌弘



先日、蒲郡で行われた三河大島いかだレースに参加いたしました。ある先輩から、急遽メンバーが足りなくなったのでどうか、とのお誘いがあり、港の仕事をしていながらマリンスポーツにあまり縁がなかったので、いい機会と思い、“出場します”、と返事。未経験者を誘うくらいなので軽い内容かと思っていたら、竹島埠頭から三河大島まで片道3.5km、とかなりの距離であることが判明。毎年参加されている方から、“我がチームは、装飾部門で優勝を狙っており、タイムでの優勝は目指していませんが、持久力は必要です”との連絡。大会前週に練習が予定されており、そこで慣れようと思っていたところ、大雨で中止。ぶっつけ本番でレースに臨むことになりました。当日は曇り気味で、風もなく、よいコンディション。竹島埠頭に並べられた30隻以上の手作りいかだがクレーンで順番に海におろされ、本番ムードが高まってきます。当チームのいかだは、手作りとは思えないほど立派で、座席もスライドするようになっていました。スタート地点に向かうまでの短い距離を使って、初めての練習。6人で漕ぎましたが、スタート直後はタイミングが揃わなかったのか、なかなか進みません。また、後ろ向きで漕ぐため、ゴールまでどのくらいか全く分からないのも厳しいところでした。右手に見える景色が、竹島、蒲郡プリンスホテル、と少しずつ変化し、ようやくゴールまであと300m。もうこれ以上は勘弁、と思っていたところ、他のチームと併走状態となったため、いきなり競争心が煽られラストスパート。大島に着いたところで選手交代（記録は40分でした）。足が張り、歩くのに若干よろめきましたが、レース後のビールが体中に染み渡りました。その後のタイムトライアルレースは観戦だけでしたが、これも大変おもしろく、また、予定通り装飾部門で優勝。非常に楽しい1日を過ごすことができました。このようなイベントを通じて、皆様がもっと海に親しんでいただければと思います。

～イベントのお知らせ～

アクアフェスタ2008  
7月27日（日）9時～13時

7月27日（日）、豊橋市上下水道局及び豊川周辺にて「アクアフェスタ2008」が開催されます。今年のイベントは、クイズラリー、アクアO×クイズ、リバーウォーク豊川、にじますつかみどり、簡易水質測定、三河湾浄化コーナー等です。参加には事前申し込みも必要なものもありますので、詳しくは、広報とよはし7月1日号、もしくは、下記の問い合わせ先まで。

イベント場所：豊橋市上下水道局及び豊川周辺  
（下記の地図参照）  
問い合わせ先：豊橋市役所河川課（0532-51-2535）

※イベントにより開催時間が異なります。  
※天候により内容の変更または中止の場合があります。  
※なるべく公共交通機関をご利用ください。  
豊橋駅から豊橋鉄道市内線にて約10分の東八町で降りていただき、そこから北へ徒歩約10分です。

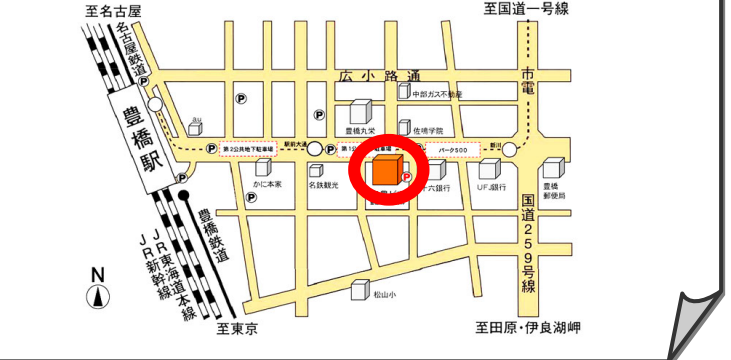


環境&キッズフェスティバル  
8月2日（土）～10日（日）10時～17時

8月2日（土）～10日（日）、名豊ビル（豊橋市）にて「環境&キッズフェスティバル」が開催されます。9日間のイベントでは、小学生を対象としたワークショップ、パネル展示、VTR上映等を行います。当事務所は、8月7日（木）のワークショップでペットボトルを使った水質調査実験を行います。また、水質浄化の事業についてのパネル展示を毎日行います。ワークショップは事前予約制になっていますので、詳しくは、下記の問い合わせ先まで。

イベント場所：名豊ビル・5Fイベントホール  
（下記の地図参照）  
問い合わせ先：名豊ビル（株）（0532-55-7211）

※イベントにより開催時間が異なります。  
※なるべく公共交通機関をご利用ください。  
JR、名古屋鉄道をご利用の場合は、豊橋駅東口より東へ徒歩5分です。



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと  
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)  
※一部の地域を除きます。

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所  
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049  
衣浦港事務所  
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312  
WEB http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp  
E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

## ○平成20年度三河港及び衣浦港事業計画説明会開催



説明会の様子

今年度の事業計画説明会が、衣浦港関係は6月9日に半田商工会議所で、三河港関係は6月18日にライフポートとよはしで開催されました。

衣浦港の説明会では、当事務所、愛知県衣浦港務所、愛知県企業庁衣浦港工事事務所、愛知県知多建設事務所、愛知県知立建設事務所の順に、三河港の説明会では、当事務所、名古屋税関豊橋税関支署、愛知県三河港務所、愛知県企業庁三河港工事事務所の順に今年度の事業計画の説明を行いました。

当事務所における今年度の事業は、衣浦港では、武豊北ふ頭地区の航路泊地の水深12m化と老朽化した中央ふ頭東地区岸壁（碧南市）の改良を、三河港では、神野地区の航路泊地の水深12m化と同地区の防波堤整備を予定しております。

また、最近では自治体やNPOなどの市民団体と協力し、みなとを活かした地域の活性化を支援する制度もあります。これらの制度については、使いやすいものとなるよう検討しておりますが、ご要望があればお気軽に連絡をいただきたいと思います。今後も皆様方と協力し、よりよい港づくりを実現していきたいと思っております。

## ○衣浦港港湾危機管理対策合同訓練

6月17日、衣浦港港湾危機管理コアメンバーおよび衣浦港保安委員会による合同港湾危機管理対策訓練が行われました。

この訓練は、北海道洞爺湖サミットを見据えた関係機関の連携強化、テロが発生した場合の対応能力の強化等、衣浦港における危機管理能力の向上を目的に実施されたものです。



船で海上を封鎖

内容としては、テロリストが潜伏する船の行く手を遮るため、船やヘリコプターで海上を封鎖する訓練や、テロリストの身柄を確保する訓練等でした。当事務所からは職員2名の他、監督船「富士丸」も訓練に参加し、海上保安庁や愛知県衣浦港務所等の船と上手く連携して、海上封鎖訓練を展開することができました。

テロはいつ何時発生するか分かりません。テロを未然に防ぐためにも、常日頃の訓練の大切さを実感しました。



ヘリコプターでテロリスト潜伏船を阻止！

## ○碧南火力発電所たんトピア見学

6月下旬、中部電力碧南火力発電所の見学施設「たんトピア」に行ってきました。たんトピアは、電力館、ヒーリングガーデン、エコパークからなり、電力館では、火力発電の仕組みを分かり易く学習することが出来ます。碧南火力発電所の火力発電では石炭が使用されており、その石炭はすべて衣浦港で荷揚げされているものです。その総量は年間約1,000万トンで、発電された電力は愛知県内の産業や家庭を支える



電力館に展示されている石炭の固まり

基盤になっています。そもそも、衣浦港は石炭や木材チップ等のバルク貨物を多く扱い、石炭の取扱量は輸入貨物全体の約73%を占めています。世界的に原油が高騰する中、今回の見学で、石炭を取扱う衣浦港の中部地方における役割がさらに重要になってきていることを実感しました。

たんトピアの見学は無料ですので、一度足を運んで、普段使っている電気が発電する仕組みを見学してみても如何でしょうか？



たんトピア電力館

## ○第20回蒲郡オレンジトライアスロン

6月22日、今回で20回目を迎える蒲郡オレンジトライアスロン大会が開催されました。大会当日は朝から雨模様でしたが、日頃の練習の成果を発揮しようと、中学生から70歳を超える総勢約400名の参加者が集まり大会を盛り上げました。

開会挨拶、参加者代表による選手宣誓の後、競技がスタートしました。競技は蒲郡競艇場を使用した遠泳（スイム）に始まり、その後、競艇場周辺を走行する自転車（バイク）へと続き、最後は再び競艇場内に戻りマラソン（ラン）でゴールを迎えます。高校生以上の一般の部（スイム1.5km+バイク40km+ラン10km）の他、リレーの部、チーム対抗戦、総距離約13kmの中学生の部などで競われ、ときおり雨が強く降る中、懸命にゴールを目指す参加者たちの姿に会場からは多くの拍手と声援が送られていました。



スイムからスタート！

## ○「半田運河再活性化プロジェクト協議会」開催



協議会の様子

6月26日、第2回目となる「『温故知多新』半田運河再活性化プロジェクト協議会」が、半田市福祉文化会館で開催されました。

今回は、昨年度行われた協議会で議論された意見をもとに、半田運河を核とした魅力ある地域づくりを目指す事業計画の骨子（案）が議論されました。今後は、「かつて舟運で活気付いていた往時の姿を復元・保存や、山車・蔵・運河が一体となった風景の創出に向けての取り組みによって、日本三大運河<sup>(注)</sup>にふさわしい運河を目指す」を目標に、運河

の将来像と、中期的な整備計画として今後5年程度で実施すべき内容と時期などについて取りまとめられる予定です。（注）日本三大運河＝瀬口哲夫名古屋市立大学大学院教授により提唱されており、小樽運河(北海道)、堀川運河(宮崎県)、半田運河(愛知県)を指す。

## ○「第1回みなとオアシス会議」開催



宮本港湾空港部長の挨拶

6月30日、「第1回みなとオアシス会議」が蒲郡商工会議所で開催されました。国土交通省では、みなとを中心とした観光や地域交流拠点の促進を目指している地域を「みなとオアシス」に認定し、様々な活動の支援を行っております。中部地域においては、平成19年4月に管内第1号として蒲郡市が、続いて同年11月に沼津市が認定を受けています。

今回の会議には、中部地域の港湾所在市町村と港湾管理者等に参加を呼びかけたところ、約30の自治体から約80名の方が出席されました。開会にあたり、中部地方整備局宮本港湾空港部長より「遠い存在となっている港を、市民に身近なものにしたい」との挨拶があり、その後、蒲郡市、沼津市より平成19年度の活動報告がされました。今後も蒲郡市、沼津市に続き、他の地域においても「みなとオアシス」への認定に向けたお手伝いを実施し、市民の方に港を身近に感じてもらえる努力を行っていきます。

## ○おいな市（第1回南知多町豊浜物産市）

7月5日、初開催となる物産市「おいな市」が、豊浜漁港の魚市場などを活用して行われました。「おいな市」とは、豊浜弁で「おい」「ちょっと」と人を呼び止める時に使う言葉です。

「おいな市」は、地元の漁業協同組合や農業協同組合、商工会、観光協会などに所属する若者が中心の「豊浜まちづくり会」が検討を進め、取りまとめられた地域活性化方策の1つとして開催されたものです。

会場となったのは、普段は魚の競りをする魚市場と魚ひろばで、地元の海産物・野菜、銘菓を販売するブース等が出展されておりました。中でも、アナゴの干物、シャコエビのみそ汁の販売が人気でした。また、町内では、7月19日、20日に開催される天下の奇祭「豊浜鯛まつり」で活躍する巨大な鯛の製作状況を見ることができ、町歩きも楽しめました。



市はたくさんの人で賑わいました